

【モニタリング項目 ID10：地域ごとのヤクシカの捕獲頭数】

1. モニタリング計画での位置づけ

- (1) 管理目標：Ⅱ植生の垂直分布に代表される貴重な生態系が維持されていること
- (2) 評価項目：D生態系が維持されていること
- (3) モニタリング項目：ヤクシカの動態把握及び被害状況把握
- (4) 評価指標：10地域ごとのヤクシカの捕獲頭数
- (5) 評価基準：捕獲頭数が適正な生息密度維持のために、寄与していること

2. 調査方法

令和元年度の捕獲状況について、屋久島町産業振興課、鹿児島県自然保護課、屋久島森林管理署及び屋久島森林生態系保全センターより情報提供いただき、また、環境省の試験捕獲結果を加えて、可能な限り場所を特定できるデータを抽出して整理した。さらに、過年度の状況と比較を行った。

3. 調査結果

(1) 令和元年度捕獲状況

捕獲実施場所は、過年度と同様に、島の周縁部が主であり、中標高帯以上での捕獲はほとんど実施されていない。

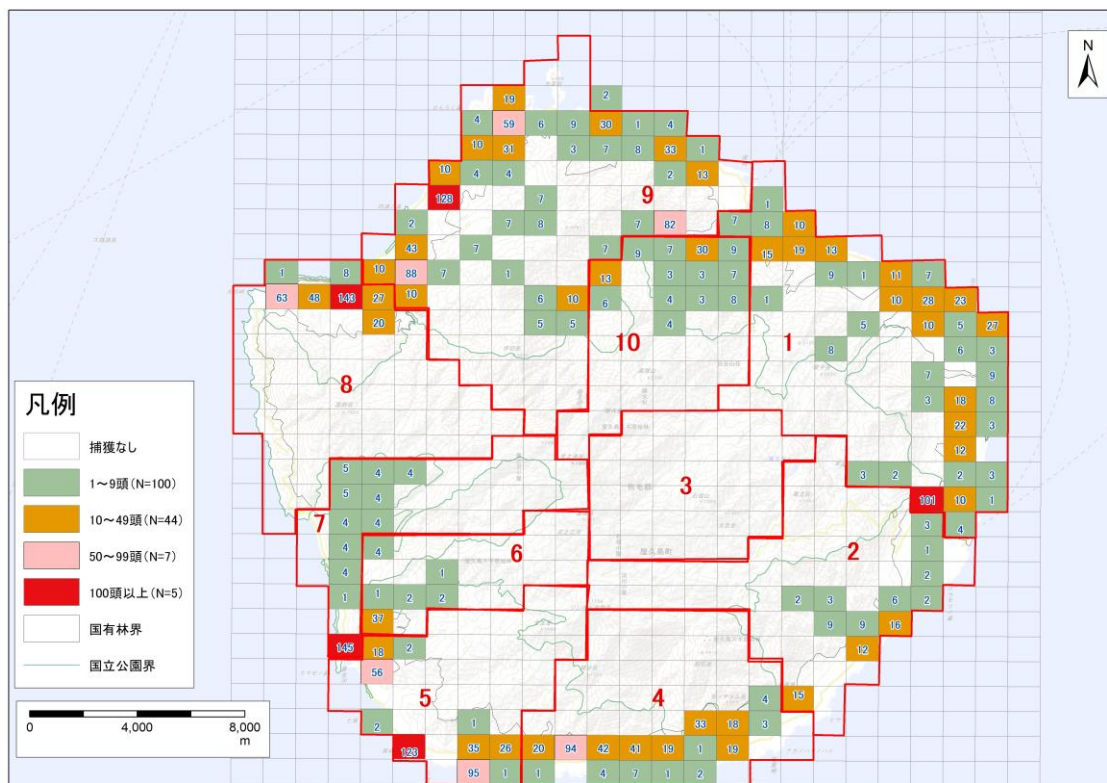


図1 令和元年度捕獲頭数

(2) 捕獲状況の推移

年度別の捕獲頭数は、平成 26 年度が最も多く、令和元年度は最も少なく（表 1、図 2・3）、全島的な捕獲数は減少傾向にある。捕獲数を河川界区分別にみると、4 つの区分において増加し、5 つの区分において減少した。

表 1 河川界区分別捕獲状況の推移

河川界 区分	捕獲数								
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
1	1,253	1,432	1,422	951	412	410	420	437	6,737
2	194	215	376	289	148	138	163	80	1,603
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	283	245	290	361	313	244	251	309	2,296
5	165	140	252	405	290	255	343	359	2,209
6	15	85	85	45	47	61	56	47	441
7	158	58	108	271	170	145	207	184	1,301
8	240	626	814	896	607	376	444	310	4,313
9	1,277	1,476	1,722	1,670	1,078	838	675	701	9,437
10	226	266	201	264	174	98	114	106	1,449
総計	3,811	4,543	5,270	5,152	3,239	2,565	2,672	2,533	29,785

※捕獲メッシュに分類できないデータは除いて集計

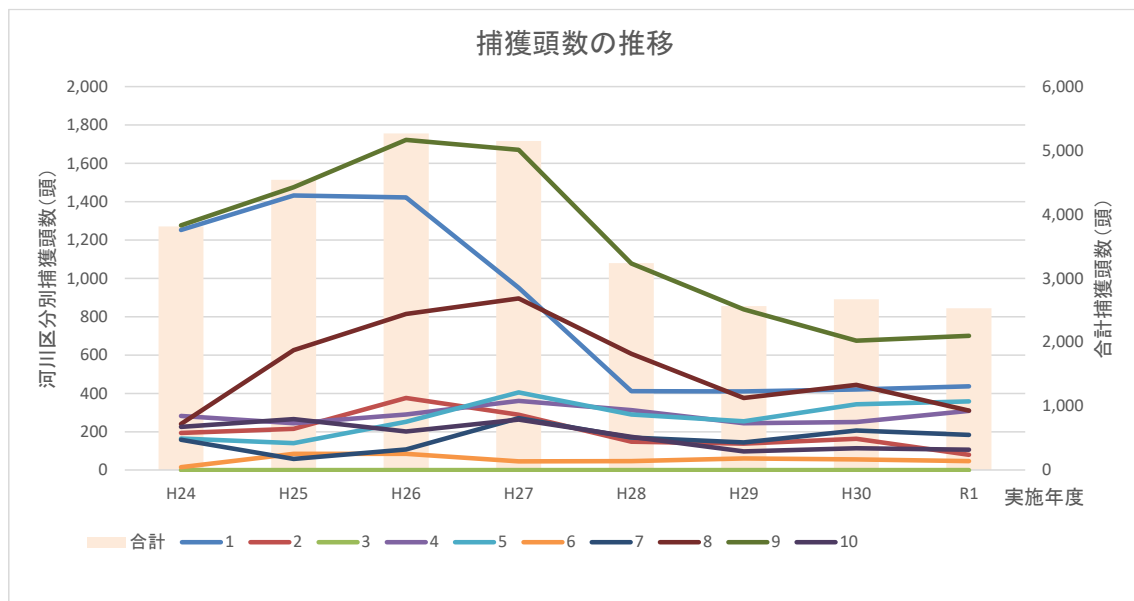
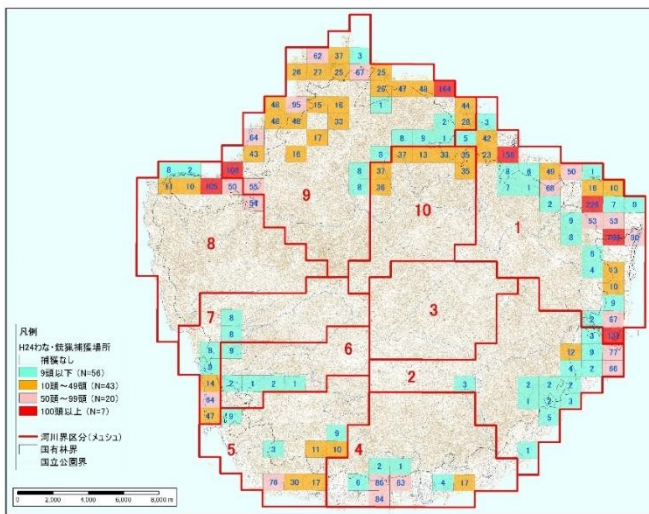
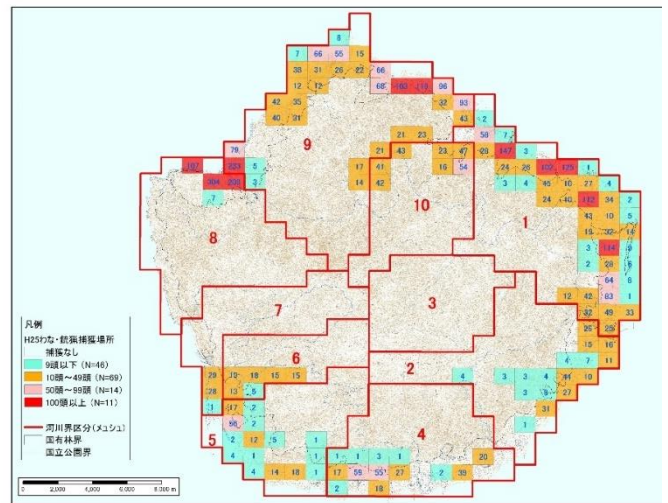


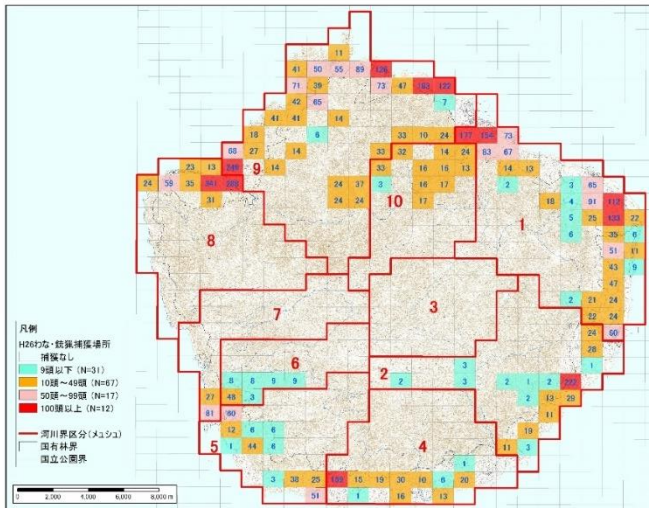
図 2 捕獲頭数の推移



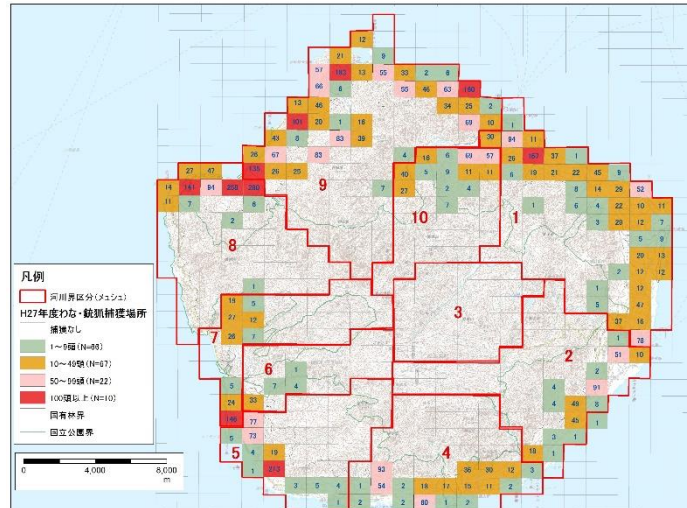
平成 24 年度捕獲数



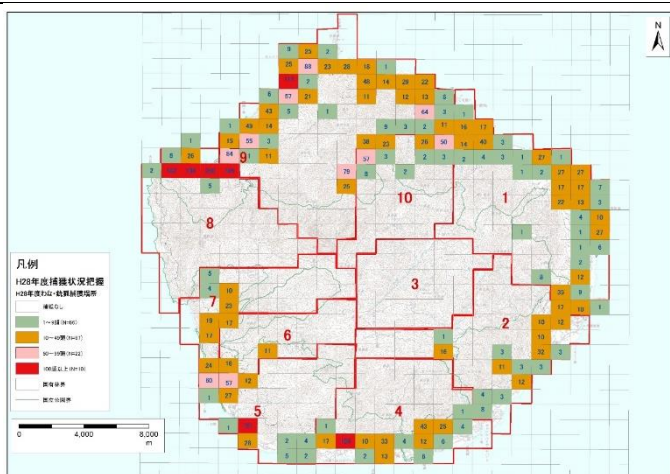
平成 25 年度捕獲数



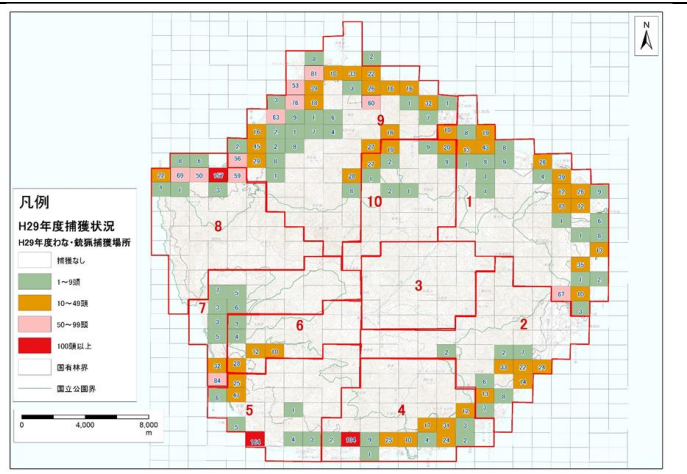
平成 26 年度捕獲数



平成 27 年度捕獲数



平成 28 年度捕獲数



平成 29 年度捕獲数

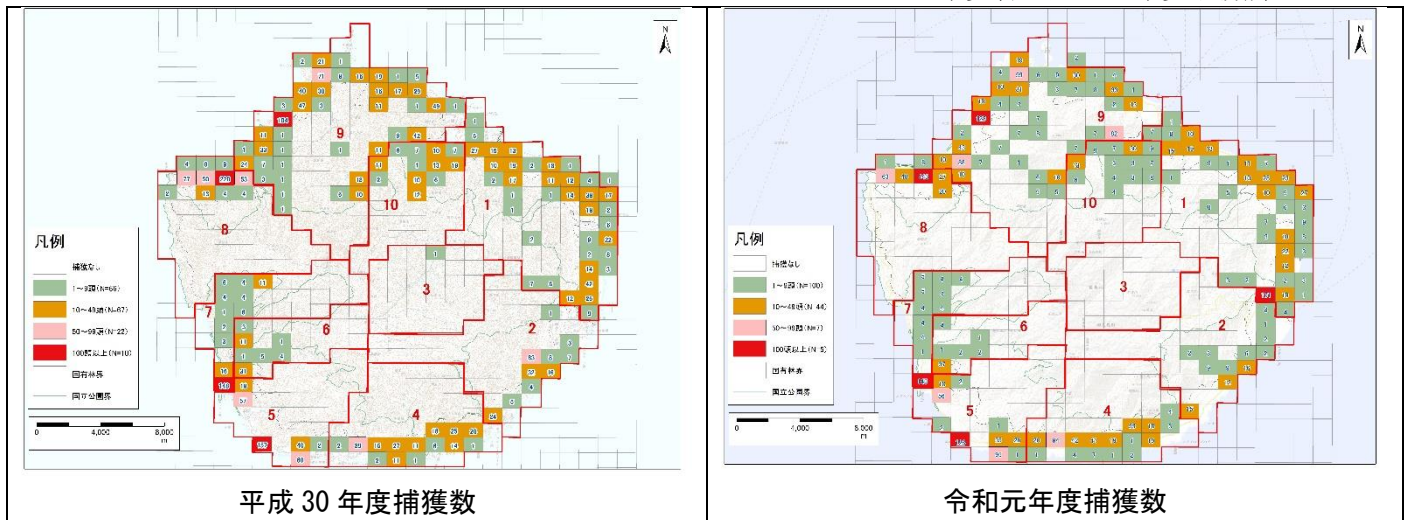


図 3 捕獲頭数の経年変化

(4) 捕獲圧の影響

平成 26 年度から令和元年度までの累積捕獲数と平成 26 年度から令和元年度までの糞塊密度の増減を比べると、低標高地域（屋久島の辺縁部）では捕獲が実施され糞塊密度が減少した。捕獲圧の無い、もしくは低い地域は糞塊密度が増加した。高標高地域では捕獲が行われていないが全体的に糞塊密度が減少した。

